

## 日本救急看護学会教育委員会よりパブリックコメントのお願い

日本救急看護学会教育委員会では、現在、救急看護ラダーの改訂にむけて準備を進めております。その骨子につきましては、第20回日本救急看護学会交流集会において、公表し皆様からご意見をいただきました。

さらなる検討を進めている所ではありますが、広く会員の皆様からのご意見を賜りたく、このたび、パブリックコメントを募集させていただき運びとなりました。ここに、その経緯を示します。

### I. 看護ラダーとは

日本看護協会は、看護師のクリニカルラダーとは、「看護師の能力開発、評価システムの1つであり、看護師の看護実践能力を段階的に表し、各段階において期待される能力を示し、到達度によって看護師の能力が示されるシステムである。クリニカルラダーの活用により、看護師は能力段階を確認しながら、自己研鑽や人材育成を目指すことが可能になる」として、看護師の看護実践能力を4つの力に分類し5段階で提示しています。

(<https://www.nurse.or.jp/nursing/jissen/index.html>)



### II. 現存の救急看護ラダー

現在、日本救急看護学会ホームページに提示されている救急看護ラダーは、2009年に策定提示されたものです。

段階	対象レベル	期待する役割	研修・セミナー	
			日本救急看護学会関連	学会外の主なプログラム
ステップ I	ビギナーレベル1 救急経験1年未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>●異常を察知し、緊急性を判断できる</li> <li>●一次救命処置を実施できる</li> <li>●止血・包帯法、創傷ケア等の応急処置を実施できる</li> <li>●急性症状への初期対応ができる</li> <li>●救急患者および家族の擁護者になることができる</li> </ul>	◇ファーストエイドコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>■AHA*-BLSヘルスケアプロバイダーコース</li> <li>*AHA: American Heart Association アメリカ心臓協会</li> </ul>
ステップ II	ビギナーレベル2 救急経験1-2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●急変時に必要な処置の根拠を理解し実践できる</li> <li>* 急変、外傷患者の看護に必要な基礎的知識が理解できる</li> <li>* 二次救命処置が理解できる</li> <li>* 救急医療で使用されるME機器の取り扱いが使用上の注意点を理解し使用できる</li> <li>●救急患者の特殊性を理解した看護実践ができる</li> <li>●救急患者や家族の心理が理解できる</li> <li>●災害時に自施設での応急救護活動ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇フィジカルアセスメントセミナー</li> <li>◇基礎病態セミナー</li> <li>◇災害看護初期対応セミナー</li> </ul>	
ステップ III	スタンダードレベル 救急経験3-5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●救急看護師の役割を理解し業務を遂行できる</li> <li>* 救急患者の観察とアセスメントにより看護上の問題を抽出できる</li> <li>* フィジカルアセスメントに基づいて緊急度・重症度を判断し、看護上の問題抽出ができる(トリアージ)</li> <li>* 迅速で的確な看護判断に基づき看護実践ができる</li> <li>●チームの一員としての行動がとれ多職種との連携が取れる</li> <li>●患者や家族の心理を理解し適切な対応ができる</li> <li>●災害現場での応急救護活動ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇JNTEC(外傷初期看護セミナー)プロバイダーコース</li> <li>◇トリアージナースコース(仮)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■AHA-ACLSプロバイダーコース</li> <li>■ISLS(脳卒中初期診療)コース</li> </ul>
ステップ IV	チームリーダーレベル 救急看護6年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根拠を持った看護の実践とリーダーシップが発揮できる</li> <li>* 行った看護ケアの評価・修正ができる</li> <li>* 患者の急変時にチームの調整役が発揮できる</li> <li>* 状況の変化に即応した判断・対応ができる</li> <li>* ステップI・IIの看護師に対して指導・教育ができる</li> <li>●救急外来におけるトリアージの指導ができる</li> <li>●患者や家族の心理を理解し適切な対応において、リーダーシップがとれる</li> <li>●臨床現場での問題に対し研究的視点で取り組むことができる</li> </ul>	◇JNTECインストラクターコース	■AHA-PALSプロバイダーコース
ステップ V	スペシャリストレベル 認定看護師(CN) 専門看護師(CNS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●救急領域の調整(コーディネーション)、相談(コンサルテーション)、倫理調整、マネジメントができる</li> <li>●卓越した看護実践が提供できる</li> <li>●救急領域の看護師対象にとどまらず教育活動ができる</li> <li>●研究指導ができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>□認定看護師教育課程(教育機関)</li> <li>□専門看護師教育課程(大学院修士課程)</li> </ul>

\* 対象レベルの救急経験年数は目安である。2次救急、3次救急など施設に合わせて、経験年数を設定する。

### III. 改訂に至った経緯

日本の保健医療のニーズは、地域包括ケアに変化しており、救急看護に携わる看護師に求められる能力を見直す時期が来ていると考えました。また、救急看護分野で受けたラダー評価が部署異動の際に継続性が難しいという声もありました。昨年、日本看護協会が看護実践能力に関する看護師クリニカルラダーを提示したことを受け、多くの施設で、既存のクリニカルラダーを日本看護協会ラダーに沿った形に読み替える作業が始まっている現状を受け当学会では、救急看護の専門性を活かしつつも専門領域のみで活用されるものではなく、一人の看護師の実践力を表すラダーが必要と判断し、改訂作業を開始した。

改定の方向性は、日本看護協会ラダーの基盤に置き、救急看護の専門性に照らし合わせて読み替えを行うものです。

### IV. 救急看護の定義

救急看護師のラダーを改訂するにあたり、救急看護を「突然かつ急激に生じる健康問題を扱う看護の分野」と定義しています。

## 救急看護師クリニカルラダーパブリックコメント募集

募集期間：平成 30 年 8 月 27 日 12 時より 9 月 22 日 24 時まで

### コメント提出方法

以下の URL、QR コードよりコメントフォームにお入りください。

コメント入力の際には、下記「救急看護師のクリニカルラダー コメント入力欄指定コメントナンバー」の入力が必要になります。

表 1 救急看護師ラダーについてのコメントをお送りください。

別表は日本看護協会看護師ラダーと救急看護実践の例示を掲載したものです。

<https://goo.gl/xTpQ8u>



救急看護師のクリニカルラダー コメント入力欄指定コメントナンバー

定義	レベル		I	II	III	IV	V
	レベル定義		基本的な看護手順に従い必要に応じて	標準的な看護計画に基づき自立して実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択し QOL を高めるための看護を実践する
看護の核となる実践能力	ニーズを捉える力	レベル目標					
		【救急看護行動目標】	I - ニーズ	II - ニーズ	III - ニーズ	IV - ニーズ	V - ニーズ
	ケアする力	レベル目標					
		【救急看護行動目標】	I - ケア	II - ケア	III - ケア	IV - ケア	V - ケア
	協働する力	レベル目標					
		【救急看護行動目標】	I - 協働	II - 協働	III - 協働	IV - 協働	V - 協働
	意思決定を支える力	レベル目標					
		【救急看護行動目標】	I - 意思	II - 意思	III - 意思	IV - 意思	V - 意思